

令和7年度 年度評価結果表

施設の概要等	施設名称		健康パークあざい					
	施設所管課		健康福祉部 健康医療政策課					
	施設概要		○設置年 平成16年4月1日 ○設置目的 市民が心と身体のリフレッシュを図り、健康でいきいきと暮らすとともに、健康の増進と地域交流の拡大が図られることを目的とする。 ○構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)2階建(地下1階) ○規模 ①温浴施設 敷地面積20,835㎡ 建築面積903㎡ 延床面積1,183㎡ ②公園施設 敷地面積8,218㎡ 建築面積505㎡(回廊部分) 延床面積505㎡(回廊部分)					
	指定管理者名		株式会社日本水泳振興会					
	指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日					
事業成果（令和7年度）	管理実施状況	管理運営業務	①施設の管理運営に関する業務に関すること ②施設及び附帯設備の維持管理に関する業務に関すること ③施設の使用許可、使用制限及び指導に関する業務に関すること ④施設使用料の徴収に関する業務に関すること ⑤災害時の危機管理体制の確保等不測の事態における対応に関すること ⑥その他市長が必要と認める業務に関すること					
		自主事業の実施状況	温浴施設利用者の減少の影響を受けるなか、各種物産展の開催など工夫を凝らした取り組みにより、自主事業全体で前年度比3.6%の売上げ増となった。特に、修繕後のリニューアルキャンペーンと機会を合わせた食事処とリラクゼーション施設の協力によるイベントは盛況で、今後も施設の強みを活かしたイベントフェア等の継続が課題である。					
	利用状況	利用状況	令和7年度実績	令和6年度実績	特記事項(増減理由等)			
			温浴:58,692人 公園:4,095人 合計:62,787人	温浴:65,180人 公園:4,560人 合計:69,740人	温浴は2月の館内メンテナンス工事(16日間の臨時休館)が減少の主因。加えて団体利用者の減少が影響している。公園は夏の猛暑・2月の降雪等により前年比89.8%となった。			
		利用者アンケートの結果			評価区分			
		実施概要	実施日:①令和7年11月22日～同月30日 ②令和8年3月22日～4月6日 回答総数:①43名(男19・女24)、②47名(男24・女23) 合計90名			最多項目	満足度 評価	
			結果	総合的な感想・受付スタッフ・見回りスタッフの対応について「とても良い」「良い」が多数を占め、概ね利用者の満足度は高い。			○	満足度が高い
				利用者の声をふまえ、反映した事項 浴室の手すり取付け、老朽化した設備(ドライヤー・洗面台・配管等)の修繕、巡回強化による施設美化 等				普通
	収支状況	施設における収支	令和7年度実績	令和6年度実績	特記事項(増減理由等)			
		収入(千円)	81,438	84,140	収入(減):温浴利用者の減少に伴う利用料金収入の減。指定管理料は同額(25,691千円)。 支出(増):人件費が前年比十約9,866千円と大幅増となり、重油をはじめとする光熱費の高止まりも影響し、収支は大幅な赤字(▲11,029千円)となった。			
			(指定管理料)	25,691			25,691	
			(利用料金収入)	44,409			47,503	
		支出(千円)	92,468	82,686				
	その他特記事項		温浴利用者の減少と2月の臨時休館の影響により利用料金収入が減少する一方、人件費が前年度比で大幅に増加し、光熱費(重油・電気)も高止まりが続いたことから、施設全体の収支は▲11,029千円と大幅な赤字となった。人件費の増加要因の分析と、収入確保・経費節減の両面からの改善が今後の課題である。薪ボイラーの効率的運用や省エネの取組は継続されており、中東情勢等による燃料価格の動向にも留意が必要である。					
年度評価	評価項目		主な評価の視点		配点	評価点		
	①設置目的の達成の取組		施設の設置目的の達成、利用者サービスの向上		40	24		
	②効率性の向上等の取組		経費の節減等、収入(利用者)の増加		25	20		
	③適正な管理運営の取組		経理状況、管理運営費の実施状況、公共性・安全性等の確保		35	31		
	合計				100	75		
	年度評価及びコメント		年度評価	令和8年2月の館内メンテナンス工事に伴う臨時休館の影響等により温浴利用者数は前年度を下回ったが、リニューアルオープン祭や食事処・リラク施設と連携したイベントなど工夫を凝らした取組により、自主事業全体では前年度比3.6%の売上げ増を達成した点は評価できる。				
			A	一方、人件費の増加や光熱費の高止まりにより施設全体の収支は赤字となっており、集客と収益のバランスを意識した経営改善が求められる。 施設の維持管理については、事前点検による早期対処や自主修繕によるコスト削減を継続しており、引き続き利用者が安心・安全に利用できる環境づくりをお願いしたい。				